鎌倉時代

名前

問1　源頼朝が確立した武士による政治において、将軍が御家人の領地支配を保証する代わりに、御家人が軍役などを負担するという主従関係の基盤となった仕組みを何といいますか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）

1. 御恩と奉公
2. 下剋上
3. 惣領制
4. 寄進地系荘園

問2　1221年に後鳥羽上皇が、源頼朝が亡くなった後の鎌倉幕府の混乱に乗じて、朝廷の権力を取り戻そうと兵をあげた出来事を何といいますか。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 承久の乱
2. 壬申の乱
3. 応仁の乱
4. 平治の乱

問3　鎌倉時代から室町時代にかけての日本の農業について述べた文として、当時の技術や社会背景をふまえて最も適切なものはどれですか。14世紀末の農業の様子を描いた絵巻物の記録などに基づき、正しい内容を選びなさい。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。
2. 石包丁を用いて稲の穂の部分だけを摘み取る収穫方法が全国に広まり、食料生産が安定した。
3. 海外輸出を目的とした製糸業が農村の副業として定着し、全国の耕地で桑の栽培が米より優先された。
4. 備中鍬と呼ばれる深く耕すための農具が発明されたことで、大規模な新田開発が幕府主導で進められた。

問4　承久の乱が起こった背景と、その結果が鎌倉幕府の支配体制に与えた影響の説明として最も適切なものはどれか。（2023年 宮崎県公立入試 類似）

1. 幕府の命を受けた有力御家人が朝廷を攻撃し、敗北したことで幕府の権威が失われて朝廷の支配が復活した。
2. 幕府内の北条氏の独裁に反対する御家人が挙兵したが、敗北したことで北条氏による執権政治が終わりを迎えた。
3. 海外からの侵略に対応できない幕府に不満を持った朝廷が挙兵したが、失敗したことで幕府は外国との交易を中断した。
4. 幕府の武士に対する支配力を弱めたい朝廷が挙兵したが、敗北したことで幕府の支配が西日本まで及ぶようになった。

問5　鎌倉時代末期に活動した「悪党」と呼ばれる人々の特徴や行動について、正しく述べたものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）

1. 幕府の最高役職として執権を補佐し、合議制によって政治の運営を支えた。
2. 荘園領主への年貢納入を拒んだり、実力で土地を奪ったりして支配を揺るがした。
3. 戦国時代において、身分の低い者が実力で上の者を倒して実権を握った。
4. モンゴルの襲来に際して、九州の沿岸警備や防塁の建設を命じられた。

問6　日本史の時代区分において、鎌倉時代から室町時代、そして織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山時代までを一つの大きな枠組みで捉えることがあります。この、武士が政治の主役となり、土地を仲立ちとした主従関係（封建制度）が確立した時代区分を何と呼びますか。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 中世
2. 近代
3. 近世
4. 古代

問7　鎌倉時代に描かれた定期市の様子を伝える資料には、多くの人々が集まる市のなかで、踊りながら念仏を唱えて布教活動を行う僧侶の姿が見られます。この人物が、民衆の救済を目指して開いた宗派の名称を答えなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 時宗
2. 臨済宗
3. 浄土宗
4. 浄土真宗

問8　鎌倉時代に広まった新しい仏教に関する記述のうち、栄西や道元によって伝えられた宗派（禅宗）の特徴や影響について述べたものとして正しいものはどれか選びなさい。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 親鸞によって開かれ、自分の罪を自覚した者こそが救われるという「悪人正機」の考えを説いた。
2. 臨済宗や曹洞宗が含まれ、その精神は後の水墨画や茶の湯といった日本文化の形成にも大きな影響を与えた。
3. 日蓮によって開かれ、社会の混乱を鎮めるために題目を唱えることを重視し、他宗派を厳しく批判した。
4. 一遍によって広められ、踊りながら念仏を唱えることで、多くの庶民の心を捉えた。

問9　鎌倉幕府を成立させた源頼朝が、全国的な支配権を固める過程において、東北地方の奥州藤原氏を滅ぼした後に朝廷から与えられた、幕府の長を指す役職名を選びなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 征夷大将軍
2. 執権
3. 太政大臣
4. 関白

問10　鎌倉時代において、栄西や道元が中国（宋）から伝えた禅宗が、武士の政権である幕府に厚く保護された理由として、その教理の特徴から考えられる説明はどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 念仏を唱えるだけで救われるという教えが、多忙な武士の生活に合致したため。
2. 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。
3. 国分寺を建立して国を守るという思想が、全国を支配する幕府の権威付けに利用されたため。
4. 貴族のような華やかな儀式を重んじる作法が、武家社会の教養として取り入れられたため。

問11　鎌倉時代の中期から末期にかけて、後鳥羽上皇は承久の乱を起こし、その後、後醍醐天皇は鎌倉幕府をたおして新しい政治を始めました。これら二人の人物に共通する、兵を挙げた最大の目的として最も適切なものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 政治の実権を朝廷に取りもどす
2. 武士の地位を高めて身分秩序を整える
3. 幕府の執権を補佐して政治を安定させる
4. 新しい仏教を広めて民衆の不安を取り除く

問12　東大寺南大門には、運慶や快慶らによってわずか69日で制作されたとされる金剛力士像が安置されています。この像に見られるような、鎌倉時代の彫刻における表現上の工夫について説明したものとして正しいものはどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）

1. 金箔や宝石をふんだんに使い、極楽浄土の華やかさを再現した
2. 左右対称の構図を厳格に守り、静寂の中に荘厳さを表現した
3. 仏の慈悲深さを伝えるため、穏やかな表情と曲線的な造形を重視した
4. 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した

問13　1221年、朝廷の勢力を取り戻そうとして後鳥羽上皇が挙兵し、鎌倉幕府を倒そうとしたものの敗れた戦いを何というか。（2023年 宮崎県公立入試 類似）

1. 壬申の乱
2. 大塩の乱
3. 承久の乱
4. 応仁の乱

問14　鎌倉時代の僧侶である一遍が、諸国を巡りながら「南無阿弥陀仏」を唱えて踊ることで教えを広める様子を描いた絵巻物は何ですか。（2019年 愛媛県公立入試 類似）

1. 鳥獣人物戯画
2. 伴大納言絵詞
3. 一遍上人絵伝
4. 信貴山縁起絵巻

答え合わせ・解説

問1	答え 1 御恩と奉公	鎌倉幕府の仕組みは、将軍と御家人の個人的な主従関係によって支えられていました。将軍が御家人の領地を保証したり新たな土地を与えたりする「御恩」に対し、御家人は「奉公」として軍役や鎌倉の警護を行いました。この土地を介した双方向の契約関係が、武家政治の基礎となりました。
問2	答え 1 承久の乱	源頼朝が鎌倉幕府を開いた後、三代将軍の実朝が暗殺されるなど幕府が揺らいでいた時期に、後鳥羽上皇が倒幕を計画しました。しかし、北条政子が御家人たちの団結を訴えたことなどにより幕府側が勝利し、朝廷の勢力は大きく衰退することとなりました。
問3	答え 1 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。	鎌倉時代、西日本から始まった二毛作は、農業生産力を飛躍的に高めました。これは夏に主食となる米を、冬には裏作として麦を育てる仕組みです。また、この時期には牛や馬に農具を引かせて田畑を深く耕す「牛馬耕」や、草木を焼いた灰を肥料にする「草木灰」の利用、灌漑用の水車の普及など、技術的な進歩が重なったことで中世の農業は大きく発展しました。選択肢にある石包丁は弥生時代、備中鍬は江戸時代、製糸業の近代化は明治時代以降の特徴であるため、時代背景が異なります。
問4	答え 4 幕府の武士に対する支配力を弱めたい朝廷が挙兵したが、敗北したことで幕府の支配が西日本まで及ぶようになった。	幕府の勢力を抑えようと後鳥羽上皇が挙兵しましたが、幕府軍に敗北しました。この結果、幕府は上皇側の領地を没収して味方の御家に与え、西日本への支配力を一気に強めることになりました。
問5	答え 2 荘園領主への年貢納入を拒んだり、実力で土地を奪ったりして支配を揺るがした。	悪党は、貨幣経済の浸透などを背景に力をつけた新興の武士や民衆を指します。彼らは地頭の職権を越えて荘園を支配したり、時には幕府の軍勢と戦ったりするなど、中世の封建社会を揺るがす存在となりました。
問6	答え 1 中世	鎌倉時代から安土桃山時代にかけては、武士が政治の実権を握り、土地の支配をめぐる制度が社会の基盤となった時代です。この時期は、貴族中心の「古代」と、徳川家康が幕府を開いた後の「近世」の間に位置するため、歴史区分では中世と呼ばれます。
問7	答え 1 時宗	一遍が時宗の教えを広める際、各地の交通の要所や、商業活動が活発化していた定期市などを訪れたことが背景にあります。農業生産力の向上によって各地で「三斎市」などの定期市が開かれるようになった社会状況を、一遍は布教の場として効果的に活用しました。
問8	答え 2 臨済宗や曹洞宗が含まれ、その精神は後の水墨画や茶の湯といった日本文化の形成にも大きな影響を与えた。	禅宗には、幕府の保護を受けて都市部で発展した臨済宗と、地方の武士や民衆に広がった曹洞宗があります。禅の精神は宗教の枠を超え、室町時代以降の水墨画、枯山水の庭園、茶の湯など、簡素で深みのある「わび・さび」に通じる日本独自の文化を形作る重要な要素となりました。他の選択肢は浄土真宗、時宗、日蓮宗の説明です。
問9	答え 1 征夷大将軍	源頼朝は、対立した弟の義経をかくまっていた東北の奥州藤原氏を討伐し、全国に守護・地頭を設置するなどの支配権を強めました。その後、1192年にこの役職に就くことで、武家政権の首長としての地位を確立しました。
問10	答え 2 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。	禅宗（臨済宗の栄西、曹洞宗の道元）は、座禅によって自ら悟りを開くことを重視しました。この自分を厳しく律し、精神を統一する修行のあり方が、生死をかけて戦う当時の武士の気風や道徳観と一致したため、鎌倉幕府やのちの室町幕府によって手厚く保護されました。「念仏を唱えるだけ」というのは浄土宗や浄土真宗の特徴であり、禅宗とは異なります。
問11	答え 1 政治の実権を朝廷に取りもどす	鎌倉幕府という武家政権によって政治の主導権が握られていた時代、後鳥羽上皇や後醍醐天皇は、天皇を中心とした本来の政治体制を復活させることを望んでいました。後鳥羽上皇は承久の乱に敗れましたが、後に後醍醐天皇は幕府を滅ぼし、天皇自らが政治を行う「建武の新政」へとつなげました。
問12	答え 4 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した	運慶や快慶に代表される慶派の仏師たちは、それまでの伝統的な様式にとらわれず、解剖学的な正確さやダイナミックな動きを重視しました。金剛力士像では、怒りを見せる表情や強調された筋肉、血管の描写によって、武士が台頭した時代の力強さが表現されています。
問13	答え 3 承久の乱	1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こした戦いは、承久の乱と呼ばれます。この戦いに勝利した幕府は、朝廷を監視するために京都に六波羅探題を設置しました。
問14	答え 3 一遍上人絵伝	鎌倉新仏教の一つである時宗をひらいた一遍が、全国を行脚して民衆に「踊り念仏」を説く姿を記録した作品です。当時の人々の服装や住居、風景などが写実的に描かれており、中世の社会を知るための貴重な歴史資料として評価されています。